

令和4年11月29日

桑名の若手公務員による地域活性化プロジェクトチーム（仮称）
への参加について（依頼）

桑名市では、国土交通省木曾川下流河川事務所や地域の経済団体などとともに「桑名市かわまちづくり協議会」を設立し、揖斐川河畔の水辺空間を利活用した取り組み（ミズベリング）などの社会実験を進めることで、このエリアに人々が往来し、人が集い、にぎわいを創出させることを目指しています。

今回、桑名市で働き、「行政サービス提供者の視点」「住民の視点」「来訪者の視点」の3つを持ち合わせた市・県・国の職員が、市内で事業をしている商工関係の方々と協力しながら、水辺の活性化を通して、住吉エリア全体を活性化し、地域に貢献するプロジェクトを進めていきます。

そこで、本プロジェクトを進めるプロジェクトチームを編成するうえで、参加者を募集します。募集期間は、12月9日（金）までに観光課へご報告ください。

なお、各所属長様におかれまして、応募される職員にはご配慮願います。

1. 目的

住吉・吉之丸地区における水辺空間あるいは国営公園関連施設において、人が楽しく集うような利活用方法をプロジェクトチームで提案し、職員に加え、市内の商工事業者の方々と協力しながら地域に貢献する実効性のある事業を作り上げる。

2. 取り組み

- ・地域の魅力を発掘（再発見）し、例えばアクティビティなどを取り入れた、来訪者のみならず自分自身が楽しめる企画を考え、実現に向けてグループで協議する。
- ・提案内容の事業スキームが固まったら、実施主体となる民間事業者を探し、かわまちづくり協議会に企画書を提出する。

3. 参加要件

本事業に興味があり熱意のある方で、会計年度職員を除く桑名市職員の方

4. 募集人数

5、6名 ※ 国、県職員も、それぞれ数名参加する予定です。

4. 会議について

- ・1月から月1回、2～3時間程度（原則、勤務時間中）で開催します。
- ・プロジェクトチームの活動は令和6年度までを予定としています。
- ・今後のスケジュールとして、12月中旬に30分程度の庁内オリエンテーションを開催します。

桑名市かわまちづくり協議会（観光課内）
担当：出口 泰隆
内線：231